

+++++

「植物と人々の博物館メールマガジン」 第 25 号 2017 年 2 月 10 日発行

+++++

小菅村の畑はまだ雪に被われているところが多いですが、お借りしている畑は陽当たりが良いので、エンドウマメもコムギも育ち、2 回目の麦踏をしました。春の準備が始まっています。今年はジャガイモのたねいもを通信販売で予約しました。野菜も野口種苗にいろいろ注文し、作付計画を作っています。春が待ち遠しいです。世の中はソウルよりもゴウルド大事ですが、ソウルはネイチュア生命です。

会員および配信を希望される方に「植物と人々の博物館」の公開活動ニュースなどをお送りしています。なお、自然文化誌研究会の全体の活動は「ナマステ」でお知らせしています。ご関心のあるご友人に転送などご紹介いただき、「辺境」の地道な市民活動に薄情なマスコミやギョウセイではなく、顔見知り信頼のクチコミで転送伝達していただけるとうれしいです。

○報告

1. シンポジウム「農山村の環境と生活文化から学ぶ都市との交流」（現代文明の移行と伝統知・生業～第 39 回環境学習セミナー）

4 月 15 日（土）～ 16 日（日）。詳細は HP に掲載し、参加申し込みを受け付けています。チラシは 4000 枚作成しました。

<http://www.milletimplic.net/collegefores/applic.html>

1 月 19 日には小菅村村長にお会いして、後援と参加の依頼をしました。1 月 24 日の伝統知研究会で内容を確認し、シンポジウムの案内チラシを作り、参加申込の受付を始めました。1 月 27 日に藤野観光協会に当日のバス借り上げと後援など、および FAO 世界農業遺産について打ち合わせに行きました。

2. FAO 世界農業遺産 に関して、1 月 19 日に、手続きなどの再確認のため関東農政局環境保全官を訪問しました。その後、小菅村村長に、ミューゼス研究会として、認定申請のため「雑穀街道協議会」を設置するようお願いに行きました。古守豊甫先生のご子息古守泰典医院長からは丁寧なお返事をいただきました。学芸大学の小柳先生からは、農村計画学会掲載の関連論文を送っていただきました。選挙中で、上野原市長からはまだお返事がありません。2 月 2 日に東京学芸大学教育研究支援課に賛同依頼のためのご説明に行きました。

関連情報をお伝えするウェブページ『雑穀街道』を作り、雑穀街道普及会の賛同者を募ることにしました。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

3. 埼玉所沢の石坂産業 を 1 月 30 日に再訪問し、会誌のインタビューを受けました。

4. 場の教育研究会（ECOPLUS）の国際シンポジウム

1 月 21 日（土）立教大学、22 日（日）早稲田大学国際会議場。課題：グローバリゼーションと地域～持続可能な社会の形成に向けた「場の教育」。延べ 100 人ほどの参加でした。この中で行われた分科会「生き方、暮らしの経済～生物文化多様性を活かす」を TT 藤野お百姓くらすの飯野さんと担当しました。植物と人々の暮らしをつなぐ内容で、30 名あまりの参加がありました。困難な時代にもしっかりと暮らしを立てている方々と話し合えてよかったです。

5. 作業予定日：2 月 8 日（水）、18 日（土）、24 日（金）、3 月 10 日（金）の予定ですが、もっと頻繁に作業が必要になりました。

小菅村中央公民館は、7 月から縮小改築の耐震工事を行います。この件につき、2 月 8 日に教育長からお話を伺いました。この計画には、展示・収蔵スペースはほとんどありません。このために、「植物と人々の博物館」は急遽引っ越し先を探さなければならなくなりました。同時に、5 月中に、自然文化誌研究会所蔵の民具、雑穀など植物標本、文献図書、書架などを梱包し、梅雨入り前に、どこかに移動せねばなりません。作業にご協力いただきたくお願いします。ご一緒していただければありがたいです。よろしくお願ひします。

ご協力いただける方は木俣にメールしてください。日程調整して、ご一緒に作業します。 kibi20kijin@yahoo.co.jp

6. ミューゼス研究会

2 月 8 日午後 7 時から 8 時半ころまで、小菅村中央公民館で開催しました。青柳代表ほか 7 名の参加でした。4 月藤野の伝統知シンポジウム、橋立のトレイル・マップ作り、FAO 世界農業遺産の認定申請について話し合いました。

○予定

1. 自然文化誌研究会総会

2 月 18 日午後 1 時から、小菅村中央公民館で開催。

2. 日本村塾ゼミ

ご意見、ご要望をお知らせください。

1) 自給農耕ゼミ第 9 回 日時：未定、場所：藤野

2) 民族植物学ゼミ第 5 回 日時：2 月 25 日（土）午後 2 ～ 4 時

場所：JR 飯田橋駅近くの タイムズカフェ

<https://tabelog.com/tokyo/A1309/A130905/13178703/>

JR飯田橋駅の西口の改札、お堀の川を正面に右側にある坂を登ったら、5分くらい。東京メトロ飯田橋駅B3出口を出て右方向、徒歩3分くらい。

内容：読書会など。

デビット・ホルムグレン 2002（リック・タナカほか訳 2012）パーマカルチャー—農的暮らしを実現するための12の原理／上・下／上・下、Commons、東京。

参考図書：◆ビル・モリソン／レニー・ミア・スレイ 1991（田口恒夫・小祝慶子訳 1993）、パーマカルチャー—農的暮らしの永久デザイン、農文協、東京。◆中尾佐助 1966、栽培植物と農耕の起源、岩波新書、再読したいロングセラーです。

3) 扶桑ゼ 園 ミ第3回；希望者があれば、くにとは何かや日本国憲法についてテキストをもとに話し合ってみたいと思います。

4. FAO 世界農業遺産 に関して小菅村として検討するために、担当課長が関東農政局にご相談に行ってくださいることになりました。2月8日に教育長にもご説明しました。

5. 植物と人々の博物館公開解説

日時：5月4日（木・祝）、場所：小菅村中央公民館。引っ越し準備のため、一部展示のみ公開とします。

6. 雑穀栽培講習会

日時：5月13日（土・祝）、場所：小菅村中組の畑など

日時：5月～6月未定、場所：藤野駅上の畑（藤野倶楽部の畑を無償借用しています）など。

7. 民族植物学第10号を希望者にはお送りしますので、メールください。なお、第11号の原稿締め切りは2017年7月末に変更します。ご寄稿をお待ちしています。環境学習セミナーの報告、野生植物の利用、九州・沖縄の雑穀栽培、信仰論などを準備しています。

8. 『雑穀のインド亜大陸』は2017年3月を完成目標に、個人の実験をまじえながら、自由に書いています。今は、州ごとの各論を書いています。未定稿ですが順次章ごとに公開していきます。同じく、『環境学習原論』も書き始めました。ともに、下記の個人ホームページから引用してくださる場合は、「木俣美樹男（2017未定稿）」としてくださるようお願いいたします。

自然文化誌研究会（東京都日野市）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳（東京）、小川泰彦（埼玉）

ミューゼス研究会／トランジション小菅（山梨県小菅村）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次

事務局長：黒澤友彦（山梨県小菅村） npo-inch@wine.plala.or.jp

植物と人々の博物館（山梨県小菅村）：館長 木下善晴

日本村塾生・研究員：木俣美樹男（東京）、西村俊（石川）、藤盛礼恵（千葉）ほか

発行人連絡先： 木俣美樹男 kibi20kijin@yahoo.co.jp

公式 HP：植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

個人 HP：生き物の文明への黙示録 <http://www.milletimplic.net/>
